

Ⅱ 卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業生数

卒業生数は 71,427 人（男子 36,664 人、女子 34,763 人）で、前年に比べ 1,230 人（△1.7%）減少し、4 年連続の減少となっています。

進路別にみると、高等学校等進学者は 70,359 人（構成比 98.5%）、就職者等は 235 人（同 0.3%）、専修学校（高等課程）進学者は 171 人（同 0.2%）、専修学校（一般課程）等入学者は 14 人（同 0.0%）、公共職業能力開発施設等入学者は 19 人（同 0.0%）、前記以外の者等は 629 人（同 0.9%）となっています。

なお、高等学校等進学者、専修学校（高等課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 17 人（卒業生の 0.0%）を含む就職者総数は 224 人となっています。（表 2-1）

表 2-1 進路別卒業生数（中学校）

区 分		平成 30 年 3 月			平成 29 年 3 月		
		卒業生数	構成比	対前年増減率	卒業生数	構成比	対前年増減率
卒業生数 (A+B+C+D+E+F+G)		71,427	100.0	△ 1.7	72,657	100.0	△ 0.9
A	高等学校等進学者	70,359	98.5	△ 1.7	71,583	98.5	△ 0.8
高等学校	本科	69,445	97.2	△ 1.7	70,637	97.2	△ 0.7
	全日制	64,127	89.8	△ 1.6	65,172	89.7	△ 1.3
	定時制	1,475	2.1	△ 4.0	1,536	2.1	4.9
	通信制	3,843	5.4	△ 2.2	3,929	5.4	9.0
中等教育 学校 後期課程	別科	-	-	-	-	-	-
	本科	-	-	-	-	-	-
	全日制	-	-	-	-	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-
高等 専門 学校	通信制	-	-	-	-	-	-
	別科	-	-	-	-	-	-
高等 専門 学校	232	0.3	2.2	227	0.3	△ 3.8	
特別 支援 学校	682	1.0	△ 5.1	719	1.0	△ 6.4	
学校	-	-	-	-	-	-	
B	専修学校（高等課程）進学者	171	0.2	27.6	134	0.2	15.5
C	専修学校（一般課程）等入学者	14	0.0	△ 53.3	30	0.0	0.0
専修 学校 各 種 学 校	専修学校（一般課程）	-	-	皆減	1	0.0	0.0
	各種学校	14	0.0	△ 51.7	29	0.0	0.0
D	公共職業能力開発施設等入学者	19	0.0	△ 32.1	28	0.0	△ 39.1
E	就職者等	235	0.3
自 営 業 主 等	自営業主等 a	30	0.0
	無期雇用労働者 b	171	0.2
	有期雇用労働者 （雇用契約期間が一月以上の）	8	0.0
	臨時労働者	26	0.0
F	前記以外の者、G 不詳・死亡の者	629	0.9	1.6	619	0.9	△ 13.9
Aのうち通信制課程を除く進学者(再掲)		66,516	93.1	△ 1.7	67,654	93.1	△ 1.3
A, B, C, Dのうち就職している者(再掲) c		17	0.0	△ 46.9	32	0.0	88.2
Eの有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者(再掲) d		6	0.0
就職者総数 a+b+c+d		224	0.3	△ 24.1	295	0.4	△ 4.8
高等学校等入学志願者		66,835			68,098		
高等学校等進学率		98.5			98.5		
男		98.3			98.3		
	女	98.7			98.7		
通信制課程を除く 高等学校等進学率		93.1			93.1		
男		92.2			92.2		
	女	94.1			94.1		
卒業生に占める就職者の割合		0.3			0.4		
男		0.5			0.6		
	女	0.1			0.2		

注：高等学校等入学志願者には、通信制高等学校入学志願者を含みません。

(2) 進路状況

ア 高等学校等進学者数

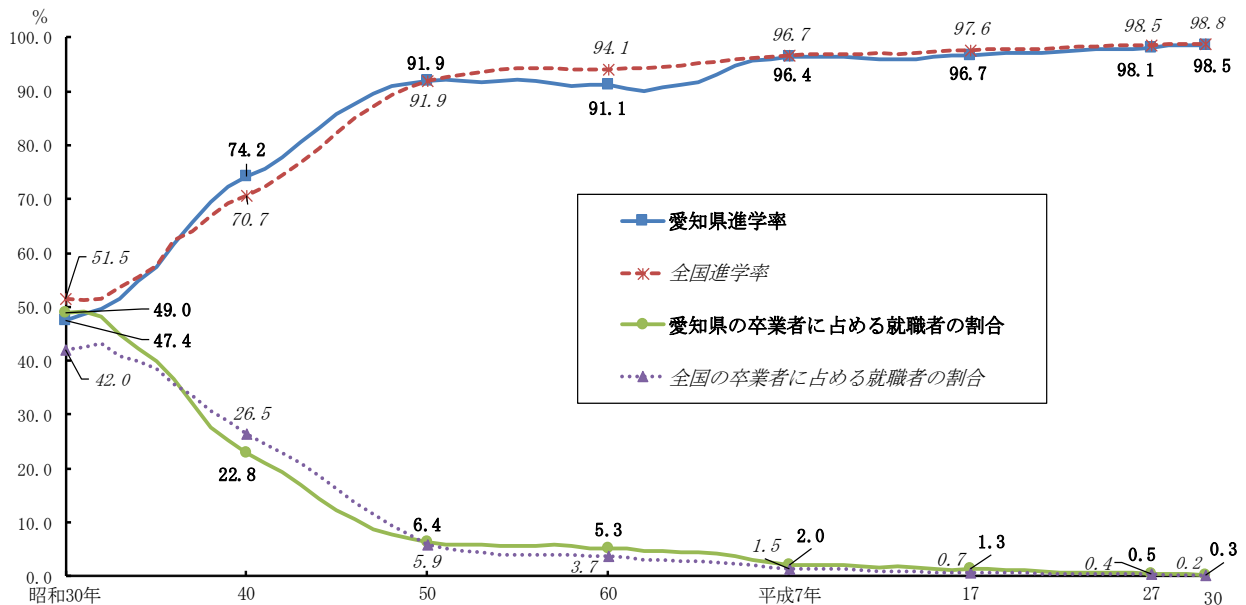
高等学校等進学者数は 70,359 人（男子 36,049 人、女子 34,310 人）で、前年に比べ 1,224 人（△1.7%）減少しています。

進学先をみると、高等学校全日制は 64,127 人（高等学校等進学者数の 91.1%）、同通信制は 3,843 人（同 5.5%）、同定時制は 1,475 人（同 2.1%）、特別支援学校高等部本科は 682 人（同 1.0%）、高等専門学校は 232 人（同 0.3%）の順となっています。

高等学校等進学率は 98.5% で過去最高となっています。男女別にみると、男子は 98.3%、女子は 98.7% で、前年に比べ男子、女子とも同率となっています。なお、全国平均は 98.8%（男子 98.6%、女子 99.0%）となっています。

（表 2-1, 図 2-1）

図 2-1 愛知県及び全国の高等学校等進学率及び就職率の推移（中学校）



イ 専修学校（高等課程）進学者数

専修学校（高等課程）進学者数は 171 人（男子 75 人、女子 96 人）で、前年に比べ 37 人（27.6%）増加し、卒業者数の 0.2% を占めています。

（表 2-1, 表 2-2）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 14 人（男子 6 人、女子 8 人）で、前年と比べ 16 人（△53.3%）減少し、卒業者の 0.0% を占めています。

入学先をみると、各種学校は 14 人で、前年と比べ 15 人（△51.7%）減少しています。

（表 2-1, 表 2-2）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は19人（男子14人、女子5人）で、前年に比べ9人（△32.1%）減少し、卒業者数の0.0%を占めています。

（表2-1, 表2-2）

表2-2 専修学校（高等課程）進学者数等の推移（中学校）

単位：人

区 分	専修学校 （高等課程）	専修学校 （一般課程）等			公共職業能力 開発施設等
			専修学校 （一般課程）	各種学校	
平成26年3月	83	58	18	40	45
27	159	47	2	45	39
28	116	30	1	29	46
29	134	30	1	29	28
30	171	14	—	14	19

オ 就職者総数

就職者総数は224人（男子175人、女子49人）で、前年に比べ71人（△24.1%）減少しています。

卒業者に占める就職者の割合は0.3%で、前年と比べ0.1ポイント低下しています。男女別にみると、男子は0.5%、女子は0.1%で、男女とも、前年に比べ0.1ポイント低下しています。なお、全国平均は0.2%となっています。

就職先を産業別にみると、第1次産業は3人（構成比1.3%）、第2次産業は115人（同51.3%）、第3次産業は89人（同39.7%）となっています。また、構成比を前年と比べると、第1次産業は1.8ポイント、第3次産業は3.7ポイントそれぞれ低下し、第2次産業は2.5ポイント上昇しています。

就職先を県内・県外別にみると、県内は215人（構成比96.0%）、県外は9人（同4.0%）となっています。県内就職率は96.0%（全国第2位）で、前年に比べ3.1ポイント上昇しています。（表2-1, 表2-3, 図2-1）

表2-3 産業別・県内県外別就職者総数（中学校）

単位：人, %

区 分	平成30年3月					平成29年3月				
	計	構成比	対前年 増減率	男	女	計	構成比	対前年 増減率	男	女
就職者総数	224	100.0	△24.1	175	49	295	100.0	△4.8	227	68
第1次産業	3	1.3	△66.7	1	2	9	3.1	80.0	7	2
第2次産業	115	51.3	△20.1	104	11	144	48.8	△17.2	130	14
第3次産業	89	39.7	△30.5	59	30	128	43.4	9.4	80	48
前記以外のもの	17	7.6	21.4	11	6	14	4.7	0.0	10	4
県 内	215	96.0	△21.5	167	48	274	92.9	△6.8	213	61
県 外	9	4.0	△57.1	8	1	21	7.1	31.3	14	7

2 高等学校

(1) 卒業者数

卒業者数は 64,684 人（男子 32,464 人、女子 32,220 人）で、前年に比べ 520 人（0.8%）減少し、4 年ぶりの減少となっています。

進路別にみると、大学等進学者は 37,655 人（構成比 58.2%）、就職者は 12,596 人（同 19.5%）、専修学校（専門課程）進学者は 8,045 人（同 12.4%）、専修学校（一般課程）等入学者は 3,835 人（同 5.9%）、一時的な仕事に就いた者は 399 人（同 0.6%）、公共職業能力開発施設等入学者は 87 人（同 0.1%）、前記以外の者等は 2,067 人（同 3.2%）となっています。

なお、大学等進学者、専修学校（専門課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 22 人（同 0.0%）を含む就職者総数は 12,618 人となっています。（表 2-4）

表 2-4 進路別卒業者数（高等学校）

区 分	平成 30 年 3 月			平成 29 年 3 月		
	構成比	対前年増減率		構成比	対前年増減率	
卒業者数(A+B+C+D+E+F+G+H)	64,684	100.0	△ 0.8	65,204	100.0	2.6
A 大学等進学者	37,655	58.2	△ 0.2	37,728	57.9	1.0
大学(学部)	34,725	53.7	△ 0.3	34,813	53.4	2.0
短期大学(本科)	2,746	4.2	0.5	2,733	4.2	△ 10.8
大学・短期大学の 通信教育部及び放送大学	14	0.0	7.7	13	0.0	30.0
その他	170	0.3	△ 0.6	169	0.3	13.4
B 専修学校(専門課程)進学者	8,045	12.4	△ 2.0	8,212	12.6	0.2
C 専修学校(一般課程)等入学者	3,835	5.9	△ 4.9	4,033	6.2	16.8
専修学校(一般課程)等	675	1.0	1.2	667	1.0	10.2
各 種 学 校	3,160	4.9	△ 6.1	3,366	5.2	18.2
D 公共職業能力開発施設等入学者	87	0.1	△ 15.5	103	0.2	25.6
E 就 職 者 a	12,596	19.5	△ 0.5	12,655	19.4	4.2
正規の職員等	12,535	19.4	△ 0.8	12,639	19.4	4.3
正規の職員等でない者	61	0.1	281.3	16	0.0	△ 33.3
F 一時的な仕事に就いた者	399	0.6	△ 14.4	466	0.7	△ 4.3
G 前記以外の者、H 不詳・死亡の者	2,067	3.2	3.0	2,007	3.1	7.6
A,B,C,Dのうち就職している者(再掲) b	22	0.0	△ 46.3	41	0.1	△ 8.9
正規の職員等	18	0.0	△ 56.1	41	0.1	△ 6.8
正規の職員等でない者	4	0.0	皆増	0	0.0	皆減
就職者総数 a+b	12,618	19.5	△ 0.6	12,696	19.5	4.1
大学等入学志願者	41,649			41,751		
大学等進学率	58.2			57.9		
男	56.0			55.6		
女	60.4			60.1		
通信教育部を除く大学等進学率	58.2			57.8		
男	56.0			55.6		
女	60.4			60.0		
卒業者に占める就職者の割合	19.5			19.5		
男	23.3			23.2		
女	15.7			15.8		

注：大学等入学志願者とは、大学(学部)及び短期大学(本科)の入学志願者の合計です。

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

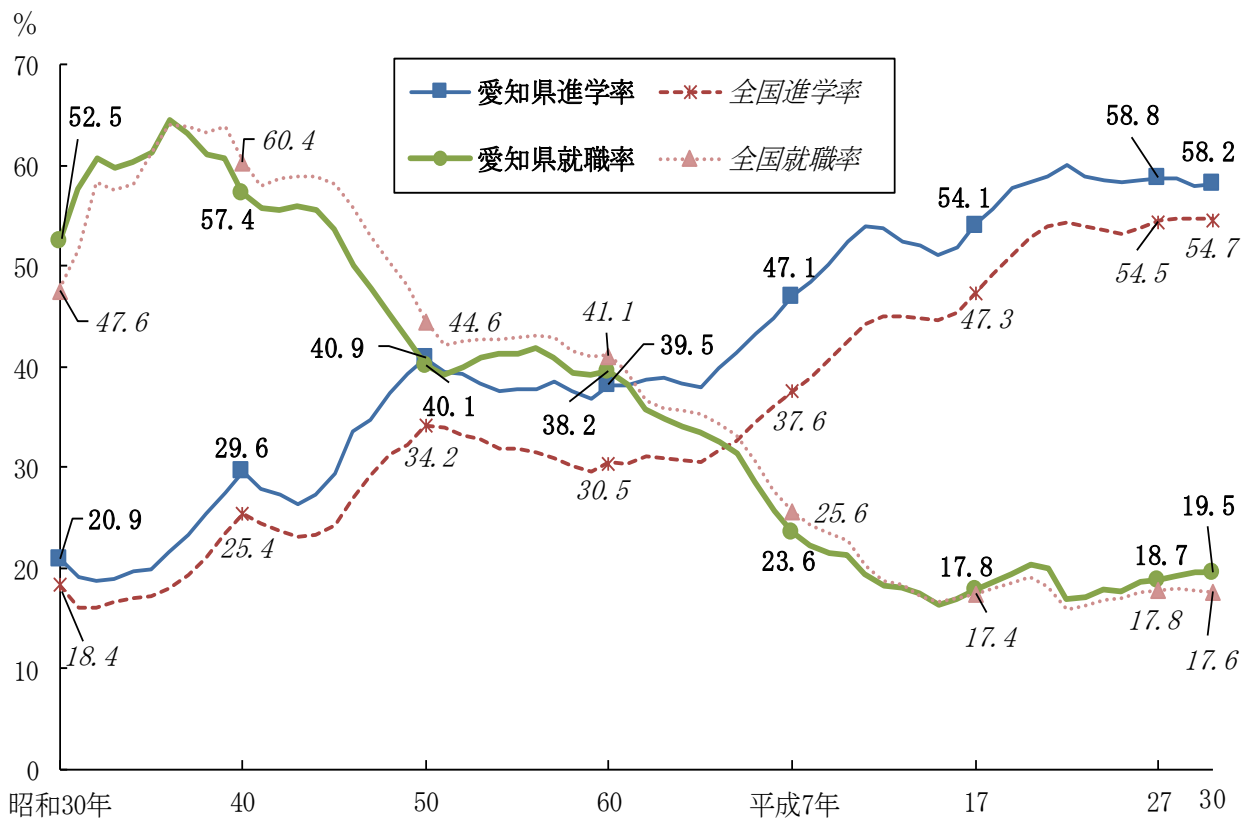
大学等進学者数は 37,655 人（男子 18,185 人、女子 19,470 人）で、前年に比べ 73 人（0.2%）減少しています。

進学先をみると、大学（学部）は 34,725 人（大学等進学者数の 92.2%）、短期大学（本科）は 2,746 人（同 7.3%）、高等学校の専攻科は 168 人（同 0.4%）の順となっています。

大学等進学率は 58.2%（全国第 7 位）で、前年に比べ 0.3 ポイント上昇し、3 年ぶりの上昇となっています。これを男女別にみると、男子は 56.0%、女子は 60.4%で、前年に比べ男子は 0.4 ポイント、女子は 0.3 ポイントそれぞれ上昇しています。なお、全国平均は 54.7%（男子 51.8%、女子 57.7%）となっています。

（表 2-4, 図 2-2）

図 2-2 愛知県及び全国の大学等進学率及び就職率の推移（高等学校）

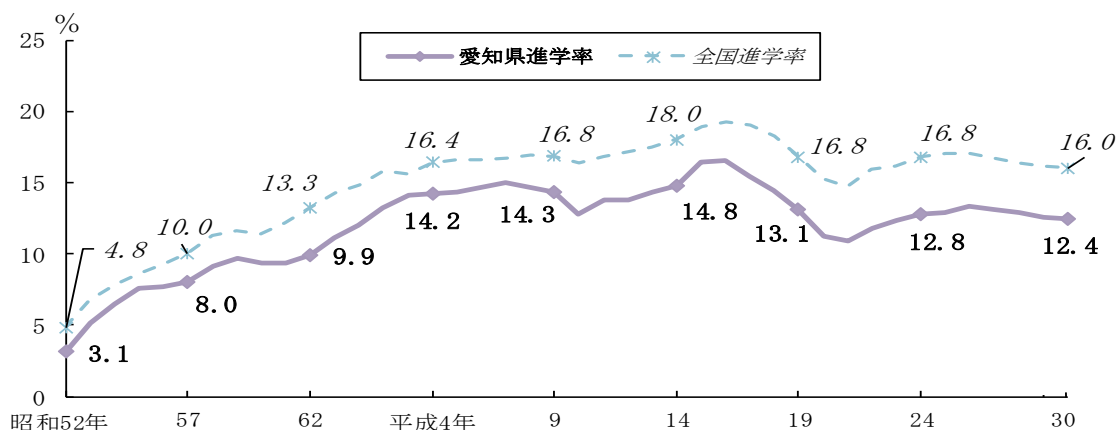


イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は 8,045 人（男子 2,717 人、女子 5,328 人）で、前年に比べ 167 人（2.0%）減少し、卒業生数の 12.4%を占めています。

（表 2-4, 表 2-5, 図 2-3）

図 2 - 3 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 3,835 人（男子 2,569 人、女子 1,266 人）で、前年に比べ 198 人（4.9%）減少し、卒業者数の 5.9% を占めています。

入学先をみると、専修学校（一般課程）等は 675 人、各種学校は 3,160 人で、前年に比べ専修学校（一般課程）等は 8 人（1.2%）増加し、各種学校は 206 人（6.1%）減少しています。卒業者数に占める割合は専修学校（一般課程）等が 1.0%、各種学校が 4.9% となっています。（表 2 - 4, 表 2 - 5）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は 87 人（男子 68 人、女子 19 人）で、前年に比べ 16 人（15.5%）減少し、卒業者数の 0.1% を占めています。

（表 2 - 4, 表 2 - 5）

表 2 - 5 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

区 分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程）等		公共職業能力 開発施設等
			専修学校 （一般課程）等	各種学校	
平成26年3月	8,171	3,260	405	2,855	77
27	8,273	3,480	546	2,934	104
28	8,195	3,452	605	2,847	82
29	8,212	4,033	667	3,366	103
30	8,045	3,835	675	3,160	87

単位：人

オ 就職者総数

就職者総数は 12,618 人（男子 7,559 人、女子 5,059 人）で、前年に比べ 78 人（0.6%）減少しています。このうち、正規の職員等は 12,553 人となっています。

卒業者に占める就職者の割合は 19.5% で、前年と同率となっています。これを男女別にみると、男子は 23.3%、女子は 15.7% で、前年に比べ男子は 0.1 ポイント上昇し、女子は 0.1 ポイント減少しています。全国平均は 17.6% となっています。

就職先を産業別にみると、製造業は 7,232 人（構成比 57.3%）、卸売業、小売業は 1,067 人（同 8.5%）、建設業は 741 人（同 5.9%）の順となっています。

就職先を職業別にみると、生産工程従事者は 7,083 人（構成比 56.1%）、サービス職業従事者は 1,220 人（同 9.7%）、事務従事者は 1,360 人（同 10.8%）の順となっています。これを男女別にみると、男子は生産工程従事者が 5,149 人（同 68.1%）で、就職者総数の 60%以上を占めています。女子は生産工程従事者が 1,934 人（同 38.2%）、事務従事者が 1,201 人（同 23.7%）、サービス職業従事者が 919 人（同 18.2%）の順で、この 3 職種で就職者総数の 80%以上を占めています。

就職先を県内県外別にみると、県内は 12,096 人（構成比 95.9%）、県外は 522 人（同 4.1%）となっています。県内就職率は 95.9%（全国第 1 位）で、前年に比べ 0.1 ポイント低下しています。（表 2-4, 表 2-6, 図 2-4）

図 2-4 産業別就職者総数の割合（高等学校）

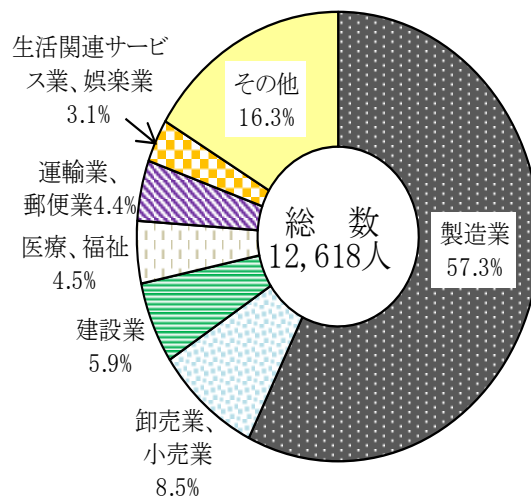


表 2-6 職業別・県内県外別就職者総数（高等学校）

区分	就職者総数	職業別											県内	県外
		専門的・技術的従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林漁業従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転者	建設・事探掘者	運搬・清掃等者	左記以外のもの		
計	12,618	601	1,360	696	1,220	306	50	7,083	330	459	266	247	12,096	522
構成比	100.0	4.8	10.8	5.5	9.7	2.4	0.4	56.1	2.6	3.6	2.1	2.0	95.9	4.1
男	7,559	449	159	177	301	265	44	5,149	259	435	167	154	7,204	355
女	5,059	152	1,201	519	919	41	6	1,934	71	24	99	93	4,892	167

カ 一時的な仕事に就いた者

一時的な仕事に就いた者は 399 人で、前年に比べ 67 人（△14.4%）の減少で、卒業者数に占める割合は 0.6%となっています。（表 2-4）

3 通信制高等学校

(1) 卒業者数

平成 29 年度間の卒業者数は、2,361 人（男子 1,547 人、女子 814 人）で、前年度間に比べ 121 人増加しています。進路別にみると、就職者は 749 人（構成比 31.7%）、専修学校（専門課程）進学者は 726 人（同 30.7%）、大学等進学者は 293 人（同 12.4%）、専修学校（一般課程）等入学者は 14 人（同 0.6%）、公共職業能力開発施設等入学者は 10 人（同 0.4%）、前記以外の者等は 569 人（同 24.1%）となっています。

（表 2-7）

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

大学等進学者数は 293 人（男子 177 人、女子 116 人）となっています。

進学先をみると、大学（学部）は 196 人、短期大学（本科）は 81 人、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学は 16 人の順となっています。

（表 2-7）

イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は 726 人（男子 546 人、女子 180 人）となっています。

（表 2-7）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は 14 人（男子 10 人、女子 4 人）で、入学先は専修学校（一般課程）等は 6 人、各種学校は 8 人となっています。

（表 2-7）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は 10 人（男子 8 人、女子 2 人）となっています。

（表 2-7）

オ 就職者総数

就職者総数は 749 人（男子 573 人、女子 176 人）となっています。

就職先を産業別にみると、製造業は 333 人（構成比 44.5%）、宿泊業、飲食サービス業は 75 人（同 10.0%）、建設業は 84 人（同 11.2%）の順となっています。

就職先を職業別にみると、生産工程従事者は 348 人（構成比 46.5%）、サービス職業従事者は 144 人（同 19.2%）、建設・採掘従事者は 85 人（同 11.3%）の順となっています。

（表 2-7）

表 2-7 進路別卒業者数（通信制高等学校）

区 分	平成 29 年度間		平成 28 年度間		
	数	構成比	数	構成比	
卒業者数	2,361	100.0	2,240	100.0	
A 大学等進学者	293	12.4	256	11.4	
大学（学部）	196	8.3	174	7.8	
短期大学（本科）	81	3.4	67	3.0	
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	16	0.7	12	0.5	
その他	-	皆減	3	0.1	
B 専修学校（専門課程）進学者	726	30.7	629	28.1	
C 専修学校（一般課程）等入学者	14	0.6	62	2.8	
専修学校（一般課程）等	6	0.3	44	2.0	
各種学校	8	0.3	18	0.8	
D 公共職業能力開発施設等入学者	10	0.4	8	0.4	
E 就職者 a	749	31.7	760	33.9	
F 前記以外の者、G 死亡・不詳の者	569	24.1	525	23.4	
A, B, C, Dのうち就職している者(再掲)	b	-	-	-	
就職者総数	a+b	749	31.7	760	33.9

単位：人、%

4 特別支援学校 中学部

中学部卒業生数は 519 人（視覚障害 9 人、聴覚障害 37 人、知的障害 351 人、肢体不自由 118 人、病弱・身体虚弱 4 人）で、進路別にみると、高等学校等進学者は 513 人（構成比 98.8%）、前記以外の者等は 6 人（同 1.2%）となっています。

高等学校等進学者を障害種別にみると、視覚障害は 9 人、聴覚障害は 37 人、知的障害は 347 人、肢体不自由は 116 人、病弱・身体虚弱は 4 人となっています。

（図 2－5）

5 特別支援学校 高等部

高等部卒業生数は 1,220 人（視覚障害 13 人、聴覚障害 52 人、知的障害 1,003 人、肢体不自由 148 人、病弱・身体虚弱 4 人）で、進路別にみると、就職者は 402 人（構成比 33.0%）、大学等進学者は 31 人（同 2.5%）、公共職業能力開発施設等入学者は 11 人（同 0.9%）、専修学校（専門課程）進学者は 1 人（同 0.0%）、専修学校（一般課程）等進学者は 3 人（同 0.2%）、前記以外の者等は 772 人（同 63.4%）となっています。

大学等進学者を障害種別にみると、視覚障害は 7 人、聴覚障害は 22 人、知的障害は 1 人、病弱・身体虚弱は 1 人で、進学先は大学（学部）へ視覚障害が 3 人、聴覚障害が 5 人、病弱・身体虚弱が 1 人、高等学校の専攻科へ知的障害が 1 人、特別支援学校高等部（専攻科）へ視覚障害が 4 人、聴覚障害が 17 人となっています。

公共職業能力開発施設等入学者を障害種別にみると、聴覚障害が 1 人、知的障害が 7 人、肢体不自由が 3 人となっています。

専修学校（専門課程）進学者を障害種別にみると、聴覚障害が 1 人となっています。

専修学校（一般課程）等進学者を障害種別にみると、知的障害が 2 人、肢体不自由が 1 人となっています。

なお、就職者総数（進学者または入学者のうち就職している者を含む）は 402 人で、障害種別にみると、聴覚障害は 19 人、知的障害は 362 人、肢体不自由は 21 人となっています。就職先を産業別にみると、製造業は 180 人（構成比 44.8%）、サービス業（他に分類されないもの）は 58 人（同 14.4%）、卸売業、小売業は 46 人（同 11.4%）、医療、福祉は 20 人（同 5.0%）の順となっています。

（図 2－6）

図 2－5 進路別卒業生の割合
（特別支援学校（中学部））

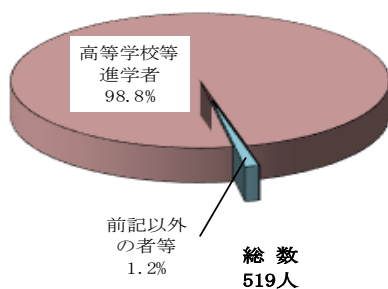
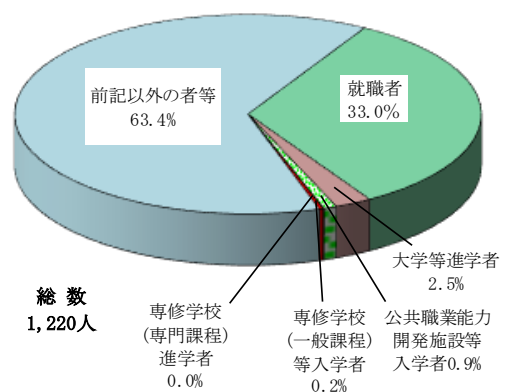


図 2－6 進路別卒業生の割合
（特別支援学校（高等部））



Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査

1 就学免除者・就学猶予者

市町村教育委員会から就学の免除又は就学の猶予を受けている者は、学齡児童（6～11歳）では就学免除者が7人、就学猶予者が30人、学齡生徒（12～14歳）では就学免除者が6人、就学猶予者が9人となっています。

理由別にみると、学齡児童では就学免除者は重国籍のためが5人、病弱・発育不完全が2人で、就学猶予者は重国籍のためが27人、病弱・発育不完全が1人、その他が2人となっています。また、学齡生徒では就学免除者は重国籍のためが4人、その他が2人で、就学猶予者は重国籍のためが9人となっています。

（表3-1）

2 居所不明者・死亡者

1年以上居所不明者は学齡児童が7人、学齡生徒が0人で、前年度に比べ学齡児童が7人（50.0%）減少し、学齡生徒が4人（△100.0%）減少しています。

平成29年度間の児童・生徒の死亡者数は学齡児童が20人、学齡生徒が15人で、前年度間に比べ学齡児童は同数（0.0%）で、学齡生徒が7人（87.5%）増加しています。

（表3-1）

表3-1 不就学学齡児童生徒数の推移

区 分	就 学 免 除 者		就 学 猶 予 者		1年以上居所不明者数		前年度間死亡者数	
	学 齡 児 童	学 齡 生 徒	学 齡 児 童	学 齡 生 徒	学 齡 児 童	学 齡 生 徒	学 齡 児 童	学 齡 生 徒
平成26年度	6	5	19	10	17	10	22	15
27	6	7	16	10	10	7	28	23
28	6	4	23	6	8	5	25	18
29	7	4	30	8	14	4	20	8
30	7	6	30	9	7	-	20	15

単位:人